

横浜国際総合競技場ボランティアだより

INTERNATIONAL
STADIUM
YOKOHAMA

ボランチわ

ボランチ【ポルトガル語で舵とり】、わ【輪、和】を意味します

2001年
7月15日発行
夏号(季刊)
Vol.5

「ヒデ、地をはうFK!」「仏の猛攻に日本健闘!!」「6万5千人の大観衆!!!」

～ コンフェデレーションズカップ特集 ～

ピッチでは「雨が目に入ってボールも見えなかった」(稲本)ほどの豪雨の中、濡れてぐしゃぐしゃになったチケットのチェックにがんばった準決勝戦。来年の本番もかくやの6万5千人の大観衆に圧倒された決勝戦。

研修会から一週間足らずで迎えたW杯プレ大会と位置づけられるコンフェデ杯ボランティア活動は、来年に向けて多くの課題を残しながらなんとか無事終了しました。参加されたボランティアの皆さんお疲れ様でした。



慣れ親しんだ横浜国際総合競技場での活動でありながら、競技場管理から離れて初めてJAWOC傘下の活動に、7日朝、ボランティアセンターに集まったボランティアの顔は、Jリーグの時とやや異なった緊張した面持ちに見えました。初めて横浜国際ボランティアとジョイントしたかながわスポーツボランティアバンクの皆さんも同じ気持ちだったことでしょう。キックオフ直前からのまるで演出されたような豪雨、雷鳴そして7F北側では瞬間最大風速30メートルの強風に、外周アプローチ、東西階段下チケットチェックでは、あっという間にずぶ濡れ状態の中での業務、W杯プレ大会の体験としては超強烈なものでした。期待しながらも思いがけないトルシエジャパンの決勝進出に沸いた10日は、本番さながらにぞくぞく押し寄せる観衆への対応に、ちょっぴりの自信と多くの不安を感じられた方が多かったことでしょう。幸か不幸か外国からのフリーガンもどきは見られませんでした。フランスから韓国経由の強烈サポーターの出現に威圧感を覚えた人もいたようです。ボランティアセンター、プログラム販売、インフォメーション担当の方、そして新横浜プリンスでのAD対応活動された方、メディアセンターでメディア対応活動の方も、殆どの方が初めての経験で戸惑いと緊張があったことでしょう。AD対応では観客対応と違って待機時間の長さにとっぴりと忍耐力が養われたことと思います。自信の語学力を十分に発揮して楽しい交流ができましたか。カタログの販売やペットボトルの対応をしながらマニュアルの片隅に英、仏、独のカタカナ語を用意してがんばった人、これから来年を目指して一語一言でも多く頭に詰め込みましょう。

お蔭様で、お願いしました「活動アンケート」は皆様のご協力で全体の半数ををこえる方々からお答えをいただきました。W杯プレ大会としての体験から提案された数多くの貴重なご意見は、大会翌週から「ボランチわ」編集部全員で総力をあげて集計、整理、編集されてここに「コンフェデ杯特集」として活動報告と共に掲載することができました。紙面の関係で全てのご意見を載せることはできませんでしたが、ここに記していない多くの提案も全てをJAWOCに開示して、これから開かれる研修会、そして来年の本番に向けてのより良い運営の資料として、また、W杯に参加されるボランティアの皆さんの心構えの一助に役立てていただければと存じます。

編集部 安田 十四雄(U)

コンフェデレーションズ

研修会

前日に日本代表が準決勝進出を決めた6月3日(日)、301号室で研修会が行われました。午前と午後150名ずつ参加した研修会の内容は、大会の意義と全体の業務説明、さらにポジションごとに分かれて詳しい説明と活動場所及び移動導線の確認、そしてユニフォームの配布と2時間があったという間に過ぎていきました。

プレW杯となる今大会の業務内容を聞き入り、いつもの活動との雰囲気の違いを感じ、漠然としていた活動への期待と不安が現実味を帯びてきました。ポジションも多岐にわたり、W杯本大会を見据えたシミュレーション

その1:「インフォメーションブース」

準決勝

ボランティア応募要項の中の語学欄に英語が多少できると記入したばかりに、ここに配置され、ちょっとあせっていました。総合案内兼外国のお客様対応と位置付けされているポジション、幸いなことに仲間は語学堪能な方たちばかりでひと安心。しかしながらお客様は日本人ばかりで、活躍の場は少なかったのですが、本大会を見据えての配置としては妥当な選択だと思いました。

インフォメーションブースで活動して感じたことは、隔離されているということでした。あのブースの中だけ周囲と温度差があるように思えてしかたなかったです。お客様で賑わう回廊での活気ある雰囲気もあまり感じられず、淡々と時間が過ぎていきました。周囲とのギャップを埋めるには積極的にブースの外に出て雰囲気を感じることが必要と思い、休憩時間に7階まで歩いてみたらお客様のおかれている状況を把握することができ、その後の対応がしやすかったです。その上、4階から7階まで縦割りで歩いていくと、階によって売店の混み具合が違うのがよくわかりましたし、新たな発見も多かったので決勝戦ではもっと積極的に歩き回ってみたいと思います。

業務内容としては、質問に答えて案内するのが主な仕事ですが、その他に拾得物・遺失物の対応、迷子の対応などがありました。貴重品扱いのものや迷子はシミズの担当者が対応、その他はボランティアが対応するのですが、試合終了後に殺到したので慣れないこともあり大変でした。

インフォメーションブースとは、いわば受身な活動場所で質問がない限りお客様は訪ねてきません。対応するお客様の数は少なく、初心者でも対応可能な活動場所のように感じました。いろいろ資料が揃っているので、単純な質問には機械的に答えることができるし、難しいことは時間をもらって調べることができるので、担当者もしくはリーダーがしっかりしていれば活動はスムーズに流れていくと思います。

決勝

準決勝での経験をいかし、もっと満足のいく活動を心掛けて挑んだ決勝戦。気持ちは日本代表といっしょ!とばかりに自分なりに活動の内容を整理しながら配置につきました。準決勝と違っていたのはシミズの担当者が2名になっていたこと。1人は準決勝と同様で、1人は回廊の様子を伝えてくれました。そのおかげで開門後の様子がリアルタイムで入ることになり活動しやすくなりました。具体的にはレインコートを売っている売店の案内で、4階の売店ではもうすぐ売切れそうだから6階の売店を案内するとかということ。ほんのちょっとしたことですが、こういう情報があるのとないのとでは大違いです。こういう情報というのは、インフォメーションブースだけでなく、各ゲートの人たちもほしいことだと思います。リアルタイムで情報を提供するボランティアのポジションがあったらよいのに…とふと思いました。

また、シミズの担当者が2名になったことで、必ずどちらかはブース内にいる状況になりました。そうになるとボランティア4名というのは多いような気がしました。受付に立つのは2名で、他の2名は休憩というパターンの繰り返し。実働は半分です。そんなに休憩を必要としない活動場所だと思うので、3名で十分ではないかと思いました。

準決勝で感じた周囲との温度差をなくす為、休憩時間は回廊をまわってみました。リアルタイムの情報は入ってくるようになっていても、やはりこの雰囲気を実感しないと一体感は生まれず、他のボランティアの活動も見えてこないで、W杯本大会でこのブースを担当する人には、ぜひこれを実践してほしいと願っています。

宮川 弘恵(U)



カップ活動レポート

ーションをメインとする配置などもありました。

参加者の中には見学ボランティアの方も数名おり、運営の活動を楽しみにされていました。いつもは人のいないスタジアムを案内しているので、試合当日の活気あるスタジアムで活動するのはどんな感じなのだろうと興味津々の様子でした。また、運営ボランティアも日本代表の試合での活動を心待ちにしていたし、ましてやプレ大会という位置付けの活動なので本大会を意識して研修会に臨んでいた人が多く見られました。



その2 : 「7階チケットチェック」

担当場所は東側バックスタンド2階席E 2 1ゲート。開門になり、お客様がパラパラと入場。平日の5時の試合とあって人が殺到せずチケットもゆっくりと確認出来、ひと安心。が、少しすると違うチケットを持ったサポーターの方が「横断幕をはらしてください」と言われ、こちらが戸惑っていると「いつもここに貼ってます！」と・・・お客様の方が私よりすっかり場所に慣れていた・・・。

準決勝

何度かお客様が出入りするうちに、顔を覚え、お互い話しかけるようになって楽しい会話が続いた。川崎フロンターレでボランティアをやっているというお客様からは「横国のボランティアはどのように応募し、またどのような活動をしているのですか？」と聞かれたり、浦和レッズのサポーターからは「ボランティアってどうですか？自分もW杯はやると思っているのですが、試合も見たいからなかなか応募できなくて」などと質問も受けた。このように関心を持ってもらえて、うれしかった。また、他のお客様からも「試合が見られなくて残念だね」、雨の中回廊に立っている時は「風邪ひかないようにね」などと声をかけてもらい、「Jリーグとは全く違う雰囲気」に包まれていて、とても活動がしやすかった。

でも、途中、隣の南側チケットを持ったお客様が来られたり、下の席の人が「上が空いているから座らせて。下の係員が移動してもいいって言ったから」と来られ、「入場できません」「移動できません」と頭を下げ続け、文句を言いながらも戻ってくれたことにホッとした。雨の観戦の辛さはよくわかるので、移動したいという気持ちも理解でき、断るのに苦労した。

そして、試合終了。すっかり顔見知りになった女性二人と握手。「決勝戦も来るからね。頑張っ！」、帰りの電車では隣に座っていた御夫婦に「あれボランティアさんだ！お疲れ様」、このような一言がとても温かく感じ、ボランティアをやってよかったなぁとしみじみ思えた準決勝の一日だった。

(7階にはトイレがないので6階まで降りなくてはならない。雨が降ると階段を降りる際、雨に当たるし足元がとても滑りやすいので、子供やお年寄り・体の不自由な方にとって、とても危険だと思った。雨対策に何か考えた方がいいのではないかと降りていく人達を見てそう思った・・・)

担当場所は準決勝と同じ。しかし、今回は準決勝ののんびりムードから一転、嵐のような忙しさ。カテゴリー2の入場はE 2 1しか入れず、その上入口が狭いので大パニック状態！入場する人から、また外に行かれる人から「狭い」「こんなじゃ来年どうなるの」という声が聞こえ、納得してしまった。ともかくずっと下を向いてチケットチェックに没頭していた為、ペットボトルへの注意が散漫になり、何人かペットボトルを持ったまま入場させてしまった。満員の状態の時は、7階もペットボトル担当が必要だとしみじみ思った。とにかく「Jリーグの時の100倍(大袈裟かもしれないが)ぐらいの忙しさ。「席はどこ？」と聞かれ「中に案内がいます」と中を見ても、他のお客様を案内中でいない。とにかく人が足りないような気がした。反面、人が多くいても入口が狭かったりして入場の妨げになるのではないかも思った。ホッと一息をついた時には、もう既に試合が始まっていた。

決勝

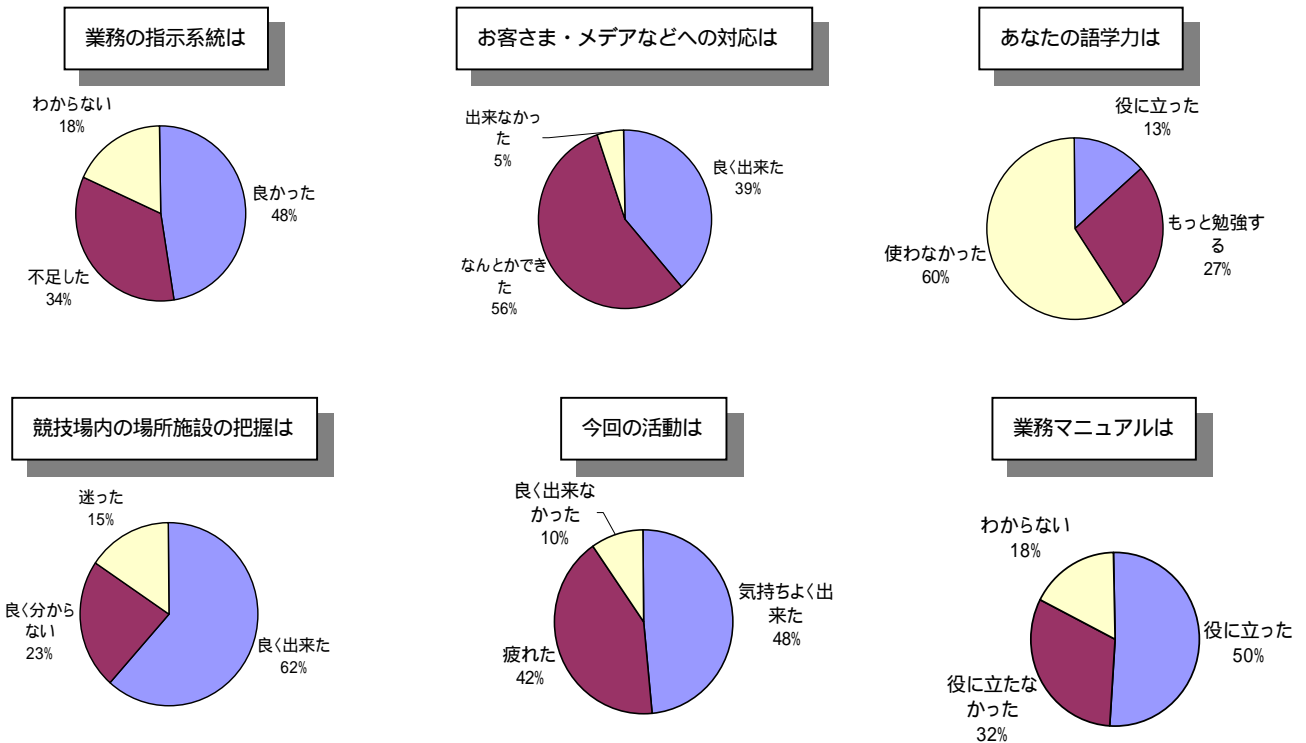
帰り際、ビニール袋を持ってお客様の見送り。あっという間にゴミ袋がいっぱいになり、袋を探すのが大変だった。かなりの人がゴミを持って退場し、ビニール袋に入れてくれたにもかかわらず、お客様が退場した後のスタンドに行って唾然。とにかくすごいゴミの量・量・量・・・。ハーフタイムに集めるなり、何らかの措置が必要だと痛感した。また、今回は外国の方も来ていて、国際大会を肌で感じる事が出来た。フランス語はわからないので英語で「おめでとう！」と言ったら、ニコニコしながら握手してくれた。海外のボランティアの人だったら、きっと何か言うんだろうと思い、自分も思ったが、やはり一言を言うのに時間がかかってしまった。もし、W杯のボランティアをやることになったら、その時はもっと積極的に声をかけようと思った。長時間でとても疲れたが、やりがいのあった二日間だった。

中村 香(U)

『コンフェデ活動アンケート集計結果報告』

予想以上の回収率にびっくりしていた編集委員の面々… これはコンフェデ杯の活動が次につながるという認識がほとんどの人に浸透していた証だと思いました。その思いを無駄にさせないために、わが編集部も一生懸命集計し、ここに報告します。

全体アンケート



Q：今回のコンフェデ杯ボランティアに参加された動機は？

1. サッカーが好きだから。サッカー関係のボランティアをしたかったから。
2. W杯を成功させたいから。W杯でボランティアをしたいから。…コンフェデ杯で経験しておきたい。
3. 横浜国際総合競技場で活動がしたかった。自分の記念に。仲間と働くのが楽しいから。
4. かながわスポーツバンクに案内が来たから。県のスポーツボランティアをしているから。
5. 国際大会を経験したかった。横浜国際総合競技場ボランティアの経験を活かしたかったから。

Q：業務マニュアルの改善すべきと思われる点は？

1. ポジションごとにまとめる。ポケットガイド（ハンドブック）が良い。組織図が必要。
2. よくある質問集、厳守・注意事項、売店・グッズ売場情報を（販売品情報も）載せる。
「タバコは販売していない」ことも明記しておく。
3. チケットの見本と説明を載せる（出来れば、カラーで）。チケット確認ポイントを明記してほしい。
4. もっと細かい指示を載せてほしい。実態に合った記述にしてほしい。緊急対応事項を明記してほしい。
マップがわかりにくい。配置図が小さい。アプローチなどの詳細図がほしい。
5. 雨天対応マニュアル、Q&A、タイムテーブル、座席表などを載せてほしい。
6. 簡単な業務に役立つ外国語集のマニュアルがほしい。
7. ボランティアセンターへの経路をわかりやすく記述してほしい。
8. 業務以外の情報（交通情報/路線経路図や時刻表）の提供。＜A・D・メディア＞
9. 業務に沿ったマニュアルの作成と早期配布。さらにそれに基づいた研修。＜A・D・メディア＞

警備（4F・5F・7F・外周）

Q：今回の活動で困った点は？

1. チケットがわかりにくかった（カテゴリーの色、ゲートの数字）。暗くてチケットが見えなかった。
2. 人員が足りなかった。休憩所が遠すぎる。食事・休憩が取れなかった。長時間立ちっぱなしで疲れた。
3. 配置場所の地理を把握してないので、質問に対応できなかった。
4. 緊急の場合の連絡方法がなかった。シミズの方は巡回してなかった。
5. 事前準備・連絡が足りなかった。指示系統がはっきりしていなかった。
指示の徹底に欠けていた。連絡が行き届いていなかった。（横断幕の対応など）
6. シミズ、ボランティア間の連絡（連携）が取れなかった。
7. ボランティアセンターへの経路がわからず迷った。
8. 強風で柵が倒れたり、ゴミ箱が飛んできて、危険を感じた。雨天時の対応方法がわからなかった。
9. 観客席から出る時、「チケットを持って出るよう」に案内したが、席に忘れた人が多かった。
10. 5Fを2階席と間違える人が多かった。別の指定席の人が入って来た。
11. 障害を持つ人への対応方法の説明がなかった。エレベータの使用範囲がわからなかった。
12. 消防局の人が、テープで固定してある柵を無理やり開けて出入りしていた。
13. ハーフタイムの観客の出入りがぶつかって混乱した。
14. 当日の配置変更は、未研修のために混乱した。

Q：大会運営で改善すべきと思われる点は？

1. チケットをわかりやすくしてほしい。…カテゴリーの色、ゲートの数字
2. もっと人員を増やしてほしい。人員の応援もなかった。ゴミ清掃要員を増やす。
3. 事前の雨対策を充分に行っておく。…雨具の配布、雨具売場の把握
4. 観客席に空き缶・ペットボトルが残っていた。もっと検査を徹底すべき。
5. トイレが少ない。ベビーシートも少ない（男子トイレにも必要）
6. 売店では、ペットボトルで販売しないで紙コップに移し替えて売ってほしい。
7. 外国語に対応できる人は、「ENGLISH」など腕章で巡回してほしい。
8. 試合終了後のバス増便。
9. 1次ゲートでのチケットチェックを確実にを行う。
10. コップへの移し替え案内は、全ての出入り口に必要。
11. トイレ、売店の案内表示をわかりやすくする。5F「2階席への案内」表示をわかりやすく表示する。
12. 指示系統を明確にしておく。連絡方法を決めておく。
13. フリーで動ける人員を配置して、シミズ、ボランティア間の連携を緊密にする。
14. インフォメーションブースを各階、東西南北の各1ヶ所に設置し、巡回する場内案内係を設ける。
15. 場内アナウンスでも「チケットは常に携帯しておくよう」案内する。
16. 出入り口の観客の流れを、出入りが混乱しないように改善する。
17. スタッフの休憩所は、各配置の近くにする。
18. チケットチェックポイントには、制服の警備員も配置する。
19. 売店も含めて、アルバイトの教育をしっかりやらせよう。
20. キックオフ直前のゲートで、他のゲートへの移動要求はトラブルになる。＜外周＞
21. 1次ゲート（階段下）に各カテゴリーへの案内表示板を出す。…誘導表示は文字より図で表示＜外周＞
22. チケット確認場所の表示板は大きくして、机を用意する。＜外周＞
23. ハンドマイク合戦は騒音である。…プラカードを用意＜外周＞
24. 車椅子・杖を使う方への介助班を設置する。＜外周＞
25. どの配置でも、競技場全体を把握して、ある程度のプロ意識を持つべし。
26. 遅れてくるお客様の為にも試合経過などの情報がほしい。

Q：今後行われる研修会とW杯の運営に希望されることは？

1. 他の団体（他の競技場のボランティア等）と交流し、情報交換していく。
2. 外国語の語学研修を実施する。
3. 研修会を充実させてほしい。早期に活動場所を決め、各ポジションごとに数回研修を行う。
（実務研修の実施、質問合戦、トラブル対応などの研修もする）

4. スタッフの心得（心構え）の研修も必要。リーダー研修も必要。ドタキャンしない為の雰囲気作り。
5. 障害を持つ人への対応の研修が必要。
6. 長時間の活動に対応できる体力テストを実施する。競技場の把握状況（理解度）をテストする。
7. 各自、自己研鑽（けんさん）して、自分のポジションのエキスパートになる。
8. 国際大会等の大きな大会を体験し、訓練する。
9. 気力・体力・知力を持ったリーダーの育成。

Q：その他の感想は？

1. 意気込みを感じられた。楽しかった。頑張った。自信がついた。疲れたけど充実していた。
2. 準備期間が短い。適材適所の配置を 知・気・体力の適正を。
3. 業者、リーダーとも勉強不足と感じられた。研修を行ってスキルアップをしたい。
4. 活動内容を充分把握しきれてなかった。
5. 初めての競技場なので、力が出せなかった。
6. サポーターが協力的だった。本部の人（？）が、ボランティアに声をかけてくれて、気持ち良かった。
7. ユニフォームの大きさを日本人の体系にあわせてほしい。
8. 2日目はスムーズな活動が出来た。
9. 主催者側の準備不足。リーダーの指示する言葉遣い、業者の態度が不適切だった。

プログラム販売

Q：今回の活動で困った点は？

1. 重い荷物を抱えて階段を上下しなければならなかったこと。
2. カートが使いづらかった。（プログラムが安定しないし、カートが引きづらかった）
3. 会計を担当したが、精算場所までの経路がわからず時間がかかった。
4. 欠席者が多く活動がハード。休憩も取れなかった。（配置転換のため活動人数が縮小された為）

Q：大会運営で改善すべきと思われる点は？

1. プログラムを入れる袋を用意してほしい。（お客様からの要望多数あり）
2. 会計担当者が最後まで売上金を管理しているのは気掛かりであり、責任問題になりかねないので改善した方がよいと思う。
3. 販売拠点を増やして、カート販売は時間に余裕のある時だけにしてはどうか。
4. 細かい連絡をもっと密にする必要がある。
5. スタンド席での移動販売をしてはどうか。
6. 机売りの照明が暗かったので明るくしてほしい。
7. どのエリアでも販売方法は平等にしてほしい。
8. プログラムを多国語対応にした方がよい。

Q：今後行われる研修会とW杯の運営に希望されることは？

1. 事前に何回か顔を合わせる機会をもった方がよいと思う。
2. 業務は出来る限り固定して、急な変更をしない方が団結力が出やすいと思う。
3. 今後行われる横浜国際総合競技場のJリーグの試合で模擬練習をしたらどうか。

Q：その他の感想は？

1. もっと危機感を持っておいの方が良い。外国人相手だったらと思うと・・・。
2. 他所属ボランティアとの活動は刺激になった。
3. もっと自分の能力が活かせる活動がしたかった。
4. ボランティアと他スタッフと同じユニフォームで活動していると私たちの活動が理解されにくいと思う。特にプログラム販売は商行為のため、ボランティアとしてのメッセージが伝えにくいと苦慮した。
5. 笑顔+大きな声でお客様と対応でき、自己満足かもしれないけど楽しく活動ができた。
6. 待機時間が少なく効率よく活動でき、充実した。

インフォメーションブース・ボランティアセンター

Q：業務マニュアルの改善すべきと思われる点は？

もっと詳しいマニュアルがほしい。

1. 日本語及び外国語での質問回答集

2. 落し物・迷子対応、ハンディキャップ者対応
3. 組織図
4. 競技場外でのイベント情報

Q：今回の活動で困った点は？

1. Jリーグ時との場内ルールが大きく違った。
2. 医務室と業者の連絡が遅かった。
3. ボランティアと業者の区別がつかなかった
4. 経験不足。仕事がなかった。
5. チケットチェックへ応援に行ったが、急だったのでうまくできなかった。



Q：大会運営で改善すべきと思われる点は？

1. 場内・場外とも、もっとわかりやすい掲示物での情報提供。
2. 場外インフォメーションブースとイントラネットによる情報の提供。
3. 大会スポンサーの商品は場内でも購入可能にした方がよい。
4. 救護スタッフの配置時間をもっと早くした方がよい。
5. 他国語版（最低でも英語版）の場内パンフレットの作成。
6. インフォメーションブースの前に対応可能な外国語の表示。
7. ボランティアセンターは土足OKの場所が良いと思う。

Q：今後行われる研修会とW杯の運営に希望されることは？

1. インフォメーションブースに特定した研修会の実施。
2. Jリーグ時でもインフォメーションブースの活動を取り入れてほしい。
3. 今回の経験を活かして、W杯でもこのポジションを希望。
4. ボランティアセンターにモニター設置をしてほしい。

メディアセンター・ADセンター

Q：今回の活動でよかった点、困った点は？

1. 大きなイベントに裏方として協力できた。
2. 他ボランティア、大会関係者、スポンサー関係者らとの交流できた。
3. 語学力を発揮できた。
4. 暇からくる脱力感があった。
5. 指示系統の不明瞭さと関係者の業務内容把握の不十分さによる活動内容の曖昧さがあった。
6. メディア関係者の混乱を生じたJAWOC広報とボランティアインフォメーションデスクの配置の悪さ。
7. 公衆電話を使用する際に必要な硬貨を両替するための両替機を設置。

Q：大会運営で改善すべきと思われる点は？

1. 他業務を含めた組織の把握とそれに伴う指示系統の明確化、簡素化。また事前研修の充実。
2. 来所人数や語学等の個々人の能力をもとに調整されたシフト作成。
3. ボランティアのこなす業務の増加と時間の有効活用。

Q：今後行われる研修会とW杯の運営に希望されることは？

1. 専門用語やトラブル対応策、そして大会情報の盛り込まれたマニュアルの早期作成と配布。
2. 組織や業務の明確化と連絡系統の確立。
3. 語学研修の充実とその活用の場の増加。
4. ボランティアのこなす業務の増加と時間の有効活動。

Q：その他の感想は？

1. 大会の舞台裏を覗けたことが面白かった。
2. 競技場運営ボランティアをはじめとして様々な人々との交流が図れてよかった。
3. めったにできない活動を経験することができ、また横浜市民として地元イベントのお手伝いできてよかった。
4. 来年のW杯ボランティアに申し込む意志が固まった。
5. 最初は業務の把握ができず、戸惑うことがたくさんあった。
6. スポンサーの威張っているような態度に恐怖感を覚えた。

新連載

～他スタジアム訪問記～

おじゃましまあ～す！

『新潟スタジアム』

&

『カシマスタジアム』

おじゃましましたあ～！

コンフェデレーションズカップ日本代表予選三試合を応援に新潟、そして鹿嶋まで足を運んできました。第一試合目（カナダ戦）と二試合目（カメルーン戦）は新潟スタジアムで、第三試合（ブラジル戦）はカシマスタジアムで行われました。準決勝、決勝は横国でのボランティア活動に参加したため試合観戦はしていませんが、そのボランティア活動を通していい経験をしました。



まず新潟スタジアム、通称ビッグスワンと呼ばれるにふさわしいロケーション。湖（実は潟）のほとりに悠々とそびえるスタジアムは、とっても美しかった！スタジアム一帯は巨大な公園になっていて、ピクニックにでも来たかのような錯覚をおぼえました。横国はどちらかと言えばシティー派スタジアム、それに対してビッグスワンはカントリー派スタジアムといった感じで、周りを取り巻く環境はとてものどかで自然環境抜群でした。しかしそれが災いして、交通の手段があまりにも悪い。ニュースでも取り上げられていましたが、最寄の駅からスタジアムまでの公共の交通手段がバスだけで、しかもこの様な大きな大会の経験が地元新潟では無かったためバスの運行が半ばパニック状態でした。一試合目の日、バスのチケットを買うのに45分、購入してから実際にバスに乗るまで15分、そしてバス乗車時間約10分。片道約一時間の道のりでした。二試合目は、歩いてみましたが片道40分弱でした。この徒歩でのアクセス情報はどのパンフレットを見ても載っていませんでした。もっとアクセス情報が的確に試合観戦者に伝わっていればあのような混乱は避けられたと思います。さてスタジアム自体の感想ですが、やはりサッカー専用スタジアムではないということもあって、スタンドからサッカーグラウンドまでの距離が横国同様かなりありました。一つ疑問に思ったのが、スタンド入り口で一切チケットのチェックをしていなかったということです。横国では全てのスタンド入り口でチケット確認を行ったと思いますが、それが一切ありませんでした。横国でのコンフェデ時と同様に東西南北、四つのゲートに分かれての入場でしたが、カテゴリー別でゲートを分けていないのに、座席さえ空いていれば二階から一階席に移るといったようなことも可能であったと思います。とにもかくにも、このスタジアムで2002W杯日本国内の第一戦目が行われるわけです。世界に誇れるような、キックオフを迎えてほしいです。



続いてカシマスタジアムですが、ここもどちらかといえばカントリー派スタジアムですね。この大会では横浜からの直行シャトルバスで行って来ました。往路は順調に約2時間半の道のりでした。途中では田園風景の広がる、まるで私の田舎（群馬）に帰ってきたかのようなようでした。大変だったのは、復路です。駐車場周辺の道路整備が不十分であることや、大きな都市までかなり距離があることなど重なって競技場周辺は大混雑しました。バスの駐車場まで徒歩10分、バス乗車の列に10分、そして乗ったバスが駐車場を出るのになんと45分強かかりました。

しかも駐車場を出てからも、のろのろ運転がしばらく続くといったかんじでした。おかげさまで、横浜駅に到着したのが、その翌日の午前1時30分。しかし、横浜にたどり着いただけでも良しとしましょう。仮に試合終了と同時に電車を乗り継いで行ったとしても、試合終了が早くても9時半。おそらく横浜まで帰ってこれなかったと思います。しかも、スタジアム周辺には宿泊できそうな施設があるというような情報は一切ありませんでしたし、とてもそういう施設があるとは思えませんでした。しかし、スタジアムは交通機関が全てではありません。カシマスタジアムはサッカー専用だけあってスタンドとグラウンドの距離が近い。これはサッカーサポーターの私にはこの上ない喜びです。運が良ければ、選手の声がよく聞こえてきますし、なんとと言っても試合そのものを近距離で見ることが出来ます。やっぱり、スタジアムはサッカー専用が良いな～と思いました。とにもかくにも、日本代表の熱くそして結果を出した試合を目の前で見られてとても良かったです。そして、試合観戦こそ出来ませんでした。横国で日本代表の試合のボランティアが出来たこと、ちょっと夢がかなったような気がします。これからもボランティアと観戦を通して日本代表応援していきたいです。

山口 彰悟（U）

「新体制ボランティア体験記」

菅沼 哲也 (U)

皆さんご承知のとおり、今年から、運営ボランティアにリーダー制が導入されました。昨年までと比べ、私たちボランティアの活動に対する責任が重くなったと考えられます。そんな中、私も新体制の基で活動しました。

4月20日広島戦、今年度初のJリーグ担当になった。いつものように受付でチェックを済ませ、担当グループの席に座ると、黄色い腕章をした人がいた。名前は知らなくても「ああ、あの人がリーダーなんだな」と判った。事務局からのお話の後、リーダーの司会者から本日の業務の説明があり、これを聞いている内に、「何か自分達が自発的にやっていかなければ…」という気持ちになった。

この日、私は5階のバック(東側)回廊でチケットチェック担当になった。活動内容は昨年までと変わらないが指示を出すのが<業者>から<リーダー>に変わった。また、美化グループの人達が清掃している姿、Eグループの人が場内をパトロールしている姿を見て、このボランティアが着実に独り立ちしつつあると思った。

活動のほうは、大きなトラブルもなく無事終了した。ただ、私を含め、皆が、今体制になじむまで「もう少し時間がかかるかな」と思った。

リーダーへおんぶに抱っこでなく、登録スタッフ全員の協力が必要だと感じました。さらに今後は、自分の持ち場だけでなく、周囲にも目を配って活動していきたいと思います。 皆さん、お疲れ様でした。

「Jリーグでの活動マニュアル」作成過程報告

自主的運営を目的として3月10日スタートしたリーダー制の活動で、各グループの活動をより円滑に進めるために、38名のリーダーからID、Noで選抜された運営委員10名によって、「Jリーグでの活動マニュアル」作成作業が行われましたので作成過程を報告します。

<第1回会議 / 4月14日> 村本係長の指導のもと3名1班となり リーダーの業務 ボランティア活動マニュアル 活動ローテーション等の項目について討議され、各配置別にポスト数、必要人数などが検討された。この他各リーダーからも多くの提案が寄せられて「4月29日版」が作成されサンフレッチェ広島戦に活用された。

<第2回会議 / 5月20日> 「4月29日版」をベースにその後の活動の中で寄せられたボランティアの意見、活動後のリーダー反省会でリーダーから出された修正点などを各セクションごとに全員で再討議し、特に各ポスト数とローテーション、連絡網等を重点に部分修正して「6月16日版」としてFC東京戦に活用された。

<第3回会議 / 6月24日> この日はリーダー全体会議として開かれた。「6月16日版」が最終検討され、用語など部分修正されたが基本部分は全員一致で賛成されて「7月7日版」として当日のボランティア全員に配布され、ジュビロ磐田戦に活用された。

以上3回の会議で、ボランティアが自主的でより充実した活動をするための「Jリーグ活動マニュアル」が作成されました。各配置グループのファイルに常時綴じてありますので、来場されるお客様を暖かくお迎えする為に「ボランティア心得」と共に是非熟読して活用していただきたいと思います。

運営委員 能澤 末喜 (U)

紙上見学ツアー

日本の国花といえば「桜」ですが、来年のW杯共催国である韓国の国花をご存知でしょうか？

それは「ムクゲ(槿)」です。さすがに一国の花に選ばれるだけに桜に劣らない、ピンク・白・紫などの美しい花を咲かせます。名前だけは聞いたことがあるという方もいると思いますが、実はこのムクゲ、競技場から小机駅へ行く途中のU字橋の脇で見ることができるのです。W杯の日韓共催が決定した直後、韓国からのお客様をもてなす意味で西田場長のアイデアで植えられたそうです。開花時期に関しては初夏から秋まで、断続的に咲きますので今の時期なら、いつ行っても美しいその花を見ることができると思います。

W杯もあと1年をきり、韓国からのお客様も増えることと思われるので、日韓友好の印としてのこのムクゲのことを話題にすれば、喜ばれること請け合いです。ちなみに韓国では「ムグンファ」と発音し、漢字表記では「無窮花」と書きます。

① いんぷおーめーしょん

横浜国際総合競技場事務局だより

暑い、暑～い夏がやってきました。こんな日のボランティア活動後は、渴いたのどにグ・グッと一杯！活動の充実感を味わいながら、仲間とともにレストラン「こころ」「四季彩」でグラスを傾けてはいかがでしょうか？

と、宣伝も済んだところで、耳より情報です。

皆さん待望の「ボランティアルーム」の完成に向け、今着々と準備を進めております。場所は北20階段2階です。皆さんの自主的な活動拠点やコミュニケーションの場として活用していただければと思います。



今後のイベントスケジュール

| 月 | 日 | イベント名 |
|-----|---------|-----------------------|
| 7月 | 29日 | マクドナルドサッカーFEST |
| 8月 | 3日～4日 | 横浜国際日韓ジュニアサッカー大会 |
| | 11日 | Jリーグ 横浜vs福岡 |
| | 12日～13日 | 国際少年サッカー大会2001 |
| 9月 | 25日 | Jリーグ 横浜vs札幌 |
| | 15日 | スバル陸上競技大会2001 横浜 |
| | 23日 | 日英ラグビー対抗戦 |
| 10月 | 29日 | Jリーグ 横浜vs市原 |
| | 7日～8日 | 横浜ホッケーリーグ・ジュニアフェスティバル |
| | 17日 | Jリーグ 横浜vs名古屋 |
| | 20日 | Jリーグ 横浜vsC大阪 |
| | 26日～28日 | 第32回ジュニアユースサッカー陸上競技大会 |

7月～10月のスタジアムツアー開催日(11時 13時 14時 15時 16時スタート)

7月 18日(水) 19日(木) 22日(日) 25日(水) 26日(木)
 8月 8日(水) 9日(木) 10日(金) 22日(水) 23日(木) 24日(金) 26日(日)
 9月 19日(水) 20日(木) 21日(金) 27日(木) 28日(金)
 10月 3日(水) 5日(金) 10日(水) 14日(日) 18日(木) 19日(金) 21日(日) 24日(水)

「初秋の午後のボランティア交流会おしらせ」

お待たせしました。来る9月24日(月・祝日)13時より301会議室等にて1年ぶりの交流会が開催されます。今年のはじめに研修会として、運営ボラは西田善夫場長の特別講演と「ボランティア活動とは」をテーマの意見交換会、見学ボラは英語版マニュアル、身障者対応の説明と意見交換会を行い、15時より運営、見学ジョイントの交流会が開かれます。今年も豪華な賞品いっぱいの楽しいゲームなどを企画中です。また、下記に募集中の「ボランチわサッカークラブ(仮称)」のお披露目も行います。年1回の仲間の楽しい交流の場にご家族同伴で、腕自慢の家庭料理や秘蔵の銘酒ご持参でぜひご参加ください。(別紙詳細)

「ボランチわサッカークラブ(仮称)クラブメンバー募集」

上手も下手も全くの初心者も男も女も集まれ！前号で募集したメンバーがまだまだ練習試合が出来るまで集まっていません。サッカーのボランティアはサッカーをやってみることに始まります。お披露目も間近です。10月7日2002フットサル大会にも出場予定！参加申込待ってまーす。(編集部 橋口)

編集後記

コンフェデ杯も、人員不足、研修不足にも関わらず、無事幕を閉じました。このプレ大会で得た経験を活かして、本大会も無事終了する事を願っています。活動に参加された皆さん、そして、大量のアンケートを整理・集計・編集された編集委員の皆さんお疲れ様でした。本大会でも頑張りましょう。(緒方)

「ボランチわメーリングリスト」開設お知らせ

会報第3号でお知らせしたメーリングリストが開設され始動しました。会員相互の交流、情報交換、活動情報からW杯最新情報まで「今すぐ知りたい情報」をキャッチできるかもしれないメーリングリストです。ボランティア間の親睦と活動の発展のためにご活躍ください。ただし申込者全員に発信されるので個人情報やプライバシーには注意して参加者共通の情報、連絡にご利用ください。参加希望の方はメールアドレスに氏名、ID番号明記の上下記までお申し込みください。(管理人：前田 哲哉)

vfe02110@nifty.ne.jp

(尚、第3号でお知らせしたアドレスから変更しています。)

【編集委員】(太字は新メンバー) 緒方二三男 瀬戸朗功 百々邦男 浅井悦子 橋口正 高瀬勝 青木義次 安田十四雄 中村香 安部由美 江部和夫 岩松節子 大橋靖子 山口彰悟 菅沼哲也 島田千尋 宮川弘恵 蓬田光雄 片岡節子 前田哲哉 鈴木麗子 栗原智 栗原芳範

編集・発行 / 〒222-0036 横浜市港北区小机町3300 横浜国際総合競技場内

ボランティア会報誌『ボランチわ』編集部 Tel:045(477)5006 Fax:045(477)5002